

本願寺新報

hongwanji journal

1月1日(日曜日)

毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社

京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派(西本願寺)
〒600-8501 本願寺出版社内
電話 075(371)4171(代) / FAX075(341)7753

新年特集号(本号16ページ)

3面 ご門主年頭の辞・新春の大谷家

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年
慶讃法要 関連特集(2~7面)

紙上公開 特別展 親鸞 生涯と名宝
ドライブでめぐる ご生涯の旅

コラム『教行信証』ご執筆の思い 玉木興慈

11面 童話 16面 懸賞付 アロークロスワード

15面 「読者のひろば」
テーマ・あなたがいてくれたから

赤光 白光 数年前の元旦、届いた年賀状を見ていた妻が「珍しい人から届いていますよ」と言う。その年賀状は、すでに往生した父からのものだった。

実は、私が書いたものだ。というのも毎年、元旦には「今年は何を大切に過ごさか」を考えている。そこで年末に「そうだ、元旦の願いを父からの年賀状として自分に届けてみよう」と思ったのだ。

▼年賀状は、謹賀新年から始まり、最後に「父より」と締めくくった。いつもの年なら元旦の願いをすぐに忘れてしまうのだが、その年は忘れることなく、時々思い出しては、父に励まされているような豊かな時間をもつことができた。

▼これは、小林一茶の有名な『おらが春』に記された逸話をまねたものだ。丹後の国に深く浄土を願う僧がいた。年末、使いの者に手紙を渡し、翌日の元旦の晩に自分へ届けるよう指示した。手紙が届くと「いずこより」と僧は問う。使いの者は「西方阿弥陀仏より年始の使いの者です」とこたえ、手紙を読んだ僧は泣いて喜んだという自作自演の逸話だ。

▼この話を友人にすると、「親鸞聖人からの手紙を書こうじゃないか」となった。これが大変だった。何と書いて自分へ届けるか。その時は「いつも念仏を称えて過ごしてください」と書いた。さて、慶讃法要の記念の年頭に当たり、聖人からの手紙に何と書くか。皆さんにも思案してほしいところだが、私は「阿弥陀仏のお慈悲を、すべての人に伝えるように読んでください」と書いた。



福岡支局 〒812-0002 福岡市博多区空港前 3-9-16 善教寺内
電話 092(621)5163/FAX092(621)9400
購読料 1部120円(年間4,080円) 定期休刊 7月10日、12月10日
浄土真宗本願寺派 代表電話 宗務所 075(371)5181 / 大谷本願 075(531)4171

宗派公式Webサイト <https://www.hongwanji.or.jp>
本願寺ホームページ <https://www.hongwanji.kyoto>

ご誕生ゆかりの地 日野誕生院の親鸞聖人童形像



今年は宗祖・親鸞聖人が誕生されて850年、来年は浄土真宗が開かれて800年という節目を迎えます。聖人が顕されたお念仏のみ教えを聞き、このご勝縁の意義を深く味わいたいものです。(関連特集2~7面)

御誕生850年・立教開宗800年
慶讃法要の年 幕開け

た。もし源空聖人がおられなければ、このたびの生涯もむなしくすんだことであろう。(現代語版『三帖和讃』129頁)

いよいよ「親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要」をお迎えする年の幕開けとなります。

このご法要は文字通り、親鸞聖人がこの世にお生まれになり、浄土真宗のみ教えをお開きになったことを慶び、お讃えするご法要です。800年の時を超えて、今、現に、こうしてお念仏の音が世に響いていることに、驚きと感動を覚えるばかりです。

こうして私たちが親鸞聖人のご誕生を慶び、お讃えするように、実は親鸞聖人ご自身も、恩師である法然聖人(源空聖人)がこの世にお生まれになったことを「高僧和讃」に讃えられています。

廣劫多生のあひだにも
出離の強縁しうさりき
本師源空いまさずは
このたびむなしくすぎなまし
(註釈版聖典596頁)

果てしなく長い間、生れ残り死に変わりし続けてきたものは、迷いの世界を離れさせる本願のすべれたはたらきを知らなかつた。

親鸞聖人は感慨をもって恩師である法然聖人との出会いを振り返っておられます。もし、法然聖人に続いて、親鸞聖人がこの世にお生まれにならなかつたならば、私たちは「迷い」を迷いとも知らず、「仏」を仏とも思わなかつたのです。

い人生を歩んでいたことでしよう。迷いを迷いと知らされ、仏さまを仏さまとして仰ぐことのできる人生を恵まれたことを、あらためてよくはせていただくばかりです。

生死流転の迷いを断ち切ったさる阿弥陀さまの本願力。その本願他力のお念仏によって今、深い迷いの境界から出る道に立たせていただきました。

すべては親鸞聖人のおかげです。

親鸞聖人いまさずは

本願他力のみ教えに出遇う



『教行信証』ご執筆の地 稲田草庵跡 (茨城県笠間市・稲田禅房西念寺)

親鸞聖人御誕生850年 立教開宗800年 慶讃法要

謹賀新年 令和五年元旦

ご縁を慶び、お念仏とともに

寺院災害保険
寺院活動行事保険
保育連盟加盟園向け災害保険

あんしん 収入補償保険
よりよい 年金払介護保険

特約新登場 「がん」治療に対する補償が新しくできました

浄土真宗本願寺派 傷害医療保険 あんのん医療保険

（新・団体系医療保険）全プランにセット可能 ※告知が必要となります。

2023(令和5)年2月1日保険責任開始

幅広い病気やケガによる入院と手術を補償1口あたり入院1日目から5,000円の補償プランからご用意しております。最大4口までご加入いただけます。

加入年齢	年払	月払
0~59歳(ケガ通院プラン)	13,000円	1,200円
0~59歳	12,000円	1,100円
60~64歳	20,100円	1,850円
65~69歳	28,390円	2,610円

※保険料は、保険の対象となる方ご本人の年齢(団体契約の始期日時時点の年齢をいいます。)や性別によって異なります。このご案内は概要です。詳しくはパンフレットをご確認ください。 SJ22-09414(2022.10.25)

フリーコール 0120-37-0243

浄土真宗本願寺派の 住職・僧侶・寺族・門徒およびその家族 にご加入いただけます (新規加入:0歳~満69歳まで、継続加入:満79歳まで)

初期費用にがん診断保険金 「がん」での診断一時金

《新・団体医療保険》全プランにセット可能 ※告知が必要となります。

がん診断保険金支払特約 100万円(一時金)

初めてがん診断された場合、またはがん診断確定されたその治療を直接の目的として入院を開始された場合に、がん診断保険金をお支払いします。一時金として受け取れるため、治療費や入院にかかる各種費用等に備えることが可能です。

通院治療にがん外来治療保険金 「がん」での通院治療費用

《新・団体医療保険》全プランにセット可能 ※告知が必要となります。

がん外来治療保険金支払特約 3,500円(日額) 5,000円(日額)

がん診断確定され、その治療の結果として外来治療を開始した場合に、がん外来治療保険金日額をお支払いします(支払限度日数90日)。補償日額は、基本プランの入院保険金日額の70%(5,000円限度)での引当となります。

浄土真宗本願寺派提携代理店 <http://www.purani-hongwanjihahoken.com> 株式会社 プラニ [代理店所在地] 京都市下京区五条通西洞院西入平屋町420番地 RMビル3F

団体割引 30%

初め費用にがん診断保険金 「がん」での診断一時金

《新・団体医療保険》全プランにセット可能 ※告知が必要となります。

がん診断保険金支払特約 100万円(一時金)

初めてがん診断された場合、またはがん診断確定されたその治療を直接の目的として入院を開始された場合に、がん診断保険金をお支払いします。一時金として受け取れるため、治療費や入院にかかる各種費用等に備えることが可能です。

通院治療にがん外来治療保険金 「がん」での通院治療費用

《新・団体医療保険》全プランにセット可能 ※告知が必要となります。

がん外来治療保険金支払特約 3,500円(日額) 5,000円(日額)

がん診断確定され、その治療の結果として外来治療を開始した場合に、がん外来治療保険金日額をお支払いします(支払限度日数90日)。補償日額は、基本プランの入院保険金日額の70%(5,000円限度)での引当となります。

浄土真宗本願寺派提携代理店 <http://www.purani-hongwanjihahoken.com> 株式会社 プラニ [代理店所在地] 京都市下京区五条通西洞院西入平屋町420番地 RMビル3F